

おめでとございます

松本和三さんが人権擁護委員法務大臣表彰を受賞

人権擁護委員の松本和三さんが法務大臣表彰を受賞され、10月30日、役場町長室で伝達式が行われました。

松本さんは、平成4年から人権擁護委員を務め、16年間にわたって地域住民の幸せを願う人権擁護委員として地道に活動されてきました。その功績が認められて、今回の受賞の運びとなりました。

式後、松本さんは、「私自身の力は、ほんのわずかなもので、皆さんの力のおかげだと思っています。これを糧に今後も精進していきたいと思えます。」と語られました。



松本和三さん(中央)

伯耆町の自然で育った農産物・加工品の販売で町の魅力をPR

森と清流の里ふれあい祭開催

10月28日、大山ガーデンプレイスで森と清流の里ふれあい祭が開催されました。

この祭には、伯耆町で取れた新鮮な野菜や特産品、工芸品などが販売されるとあって、家族連れや地元の農産物などを買い求める大勢の人でにぎわいました。

この日は、秋晴れのよい天気で、地元特産品等豪華賞品が当たる抽選会やウォークラリー、わら細工体験などの催しも大盛況でした。また、11月13日、ふれあい祭の際に特産野菜で作ったふれあい汁やモチをふるまうことで集めたチャリティー募金を社会福祉協議会に贈りました。



ふれあい祭で集まったチャリティー50,862円を社会福祉協議会に贈りました

高齢者教室の皆さんが活動の成果を発表しました

平成19年度伯耆町高齢者教室合同研修会発表会開催

11月7日、鬼の館ホールで平成19年度伯耆町高齢者教室合同研修会・発表会が開催されました。

この研修会は、町内の二部公民館、溝口公民館、日光公民館、岸本公民館が高齢者の交流と親睦を図るために合同で開催したものです。

午前中の研修会では、米子市民シネマ「梨の花は春の雪」の原作者 松本薫さんを講師に迎え、「人と人とのつながりを求めて」をテーマに人や地域、歴史とのつながりについて講演されました。

また、午後からは、各公民館で活動している高齢者教室の皆さんによる踊りや合唱、和太鼓・大正琴の演奏などが披露されました。舞台のうえで熱演する参加者に、会場から大きな歓声と拍手がおくられていました。



溝口公民館盆踊り同好会の踊り(上)、貴寿学園健康グループのリズム体操(下)

第8回植田正治写真美術館フォトコンテスト表彰式

11月18日、第8回植田正治写真美術館フォトコンテストの表彰式が開催されました。今回のフォトコンテストには、一般の部388点、高校生以下の部78点の応募がありました。審査は、写真家の川本真功さん(島根県松江市)、渡里彰造さん(米子市)を審査員に迎えて行われました。表彰式当日、フォトコンテストの入賞者に(財)植田正治写真美術館理事長 住田圭成さん、新日本海新聞社西部本社事業局長 岡田晴次さんから表彰状が授与されました。審査結果(入賞者)は、次のとおりです。

一般の部

- 大賞 「ナルシスト」(3枚組) 宮本 香子(江府町)
- 優秀賞 「木漏れ日」(2枚組) 和多 寛明(米子市)
- 秀作賞 「祭日」 関谷 満(島根県松江市)
- 「水面の戯れ」 足立 智子(米子市)
- 「祭りの日」 安達 彰(島根県松江市)
- 「潮騒」(3枚組) 岡田 勉(米子市)
- 「古代と現代」 藤原 静雄(島根県雲南市)
- 「幸せの日」 加藤 睦(島根県松江市)
- 「おばあちゃんと一緒」 江村 照子(境港市)
- 山陰フジカラー賞 「初夏」 武田 節朗(島根県松江市)

高校生以下の部

- 大賞 「好奇心」 今度真優子(鳥大附属小6年)
- 優秀賞 「水そうの中をのぞく少女」 上谷 楓(日野・黒坂小4年)
- 秀作賞 「花」 宇津宮侑希(米子東高2年)
- 「夏休みの思い出」 三輪晃太郎(江府・明倫小4年)
- 「昼休み」 前住 智(鳥取豊学校高等部3年)
- 「ウォーターボーイ」 田中 菜月(鳥取豊学校高等部3年)
- 「夏休み、白いくも」 石谷 有梨佳(鳥取・明徳小6年)
- 「狙って」 柳田 拓斗(境高1年)
- 「影スパイダーマン」 木村 理沙(日野・黒坂小6年)
- 新日本海新聞社賞 「にやり」 大西 幸(米子東高3年)

第3回伯耆町文化展

11月2日から4日にかけての3日間、溝口公民館を会場として第3回伯耆町文化展が開催されました。

この文化展は、伯耆町文化振興会が地域の文化の向上と文化の香りのする地域づくりの一環として開催されたもので、町民の皆さんに広く呼びかけたところ、日本画、洋画、写真、彫刻、工芸の5部門に181点。小・中学生を対象としたジュニアの部に117点が集まりました。

会場には、町民の皆さんが展示された力作が一堂に展示され、鑑賞に訪れた人たちの目を惹きつけていました。



町民の力作が一堂に展示

谷川集落に可搬式動力ポンプを整備



宝くじの助成金で整備されました

宝くじの普及広報を目的とする(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(自主防災組織育成助成事業)を活用し、谷川集落に可搬式動力ポンプ一式が整備されました。

今回、可搬式動力ポンプ一式が整備されたことにより、火災発生時に初期消火による被害の軽減と地域住民の防災意識の向上が図られました。